

本物のニュース速報 (Real news bulletin / نشرة أخبار حقيقة)

親愛なる読者の皆様。これはデイル・アル・バラから私たちに届いた詳細なニュース速報です。

政治レベルでは、2週間前、市民は停戦協定に関連するエジプト紙のニュースを情熱と関心を持って追っていました。対話、修正、凍結、希望の提供と撤回の間で変動が続き、市民は極度の不満を抱き、これにより大多数の人々はニュースを追うこと避け、子供たちに食事を作るため、ブドウの葉、モロヘイヤ、ほうれん草を追い始めました。

経済レベルでは、わずかに下がったり大幅に上がったりする物価の高騰に市民は依然として驚いています。確かなことは、現在のガザの物価は世界で最も高いかもしれないということです。例えば、砂糖1キロが7ドル、調理油1リットルが6ドル、米1キロが8ドルで、もちろん商品は希少です。さらには驚くことに「隠れんぼ」は経済にも存在しています。時には塩、砂糖、油、イースト、小麦粉が市場から消え、数日後に馬鹿げた値段で再び現れることがあります。例えば、塩1キログラムが25セントから10ドルに跳ね上がる、といった具合にです。

最近、家庭が必要とする基本的な物資、米、砂糖、小麦粉が不足している中で見かけたのは市場に氾濫しているポテトチップス、ソフトドリンク、ドーナツです。もちろん馬鹿げた値段で売られています。

一方、荷車の運転手は依然として市民との団結を維持しており、あらゆる物の価格が上昇しているにもかかわらず、街からキャンプまで、またはその逆も乗客1人当たり1シェケルの価格を維持することで市民への帰属を表明しています。しかし、特別な注文のロバを利用したい場合は、要求に応じて価格が変動します。

社会的レベルでは、人々は互いに連絡を取ること、つまりお互いを確認し合うことが減りました。これは、多くの人々の精神的な状態の悪さと連絡を取ろうとし数百回の失敗を重ねた結果です。今の状況は沈黙、待ち、退屈が支配しています。

ある市民との会話の中で、彼はどのように一日を過ごしているのか?と尋ねると、彼は、家族にその日の食料を提供するために、一日中、ある場所から別の場所へ走り回って過ごし、夜は避難先の居住地で朝まで起きていると、そして自分の家のベッドに帰り、静かにコーヒーを飲みながら目を覚ます日を夢見ていると語りました。

2024年1月8日

アリー・アブー・ヤースィーン

訳 藤田ヒロシ (2024.8.30 改定)